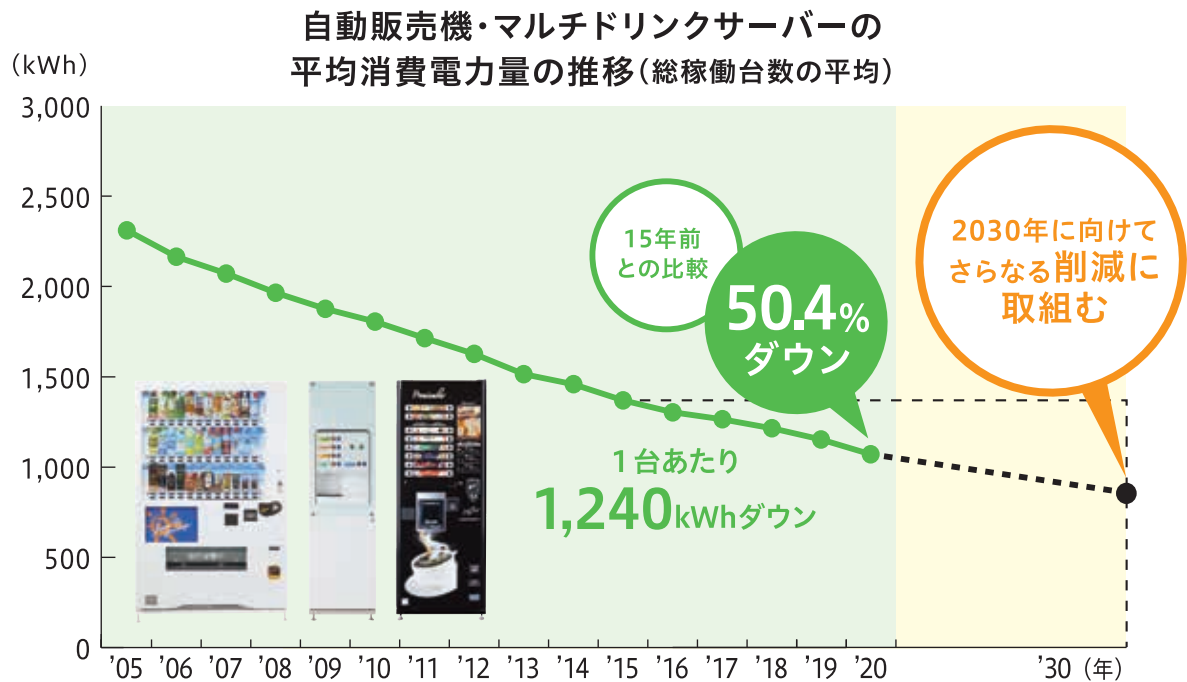


自動販売機の取組み

自動販売機1台あたりの消費電力量の推移

ジャパンビバレッジの事業活動で最も大きな環境影響のある自動販売機。総稼働台数の1台あたりの平均消費電力量は15年前に比べて50%減少しています。今後も、省スペースタイプの小型機、省エネ機等の導入を実施し2030年に向けてさらに削減できるように取組んでいきます。



2020年度の環境目標と実績

ジャパンビバレッジは「グリーン・オペレーション」をテーマに環境活動を行っています。2020年度は4つの環境目標を掲げ、取組みました。

目標内容	目標値	目標達成率	評価
① オペレーション車両 総走行距離(km)の削減	2019年度の総走行距離以下にする	達成 102%	○
② 商品アイテム数 (缶・ペットボトル)の削減	2019年度の商品アイテム数 (缶・ペットボトル)から10%削減する	未達 90%	×
③ 事業所内省エネの取組み	グループ全体の消費電力量を 2019年度比で1%削減	達成 118%	○
④ レスペーパーの実施	2019年度の紙使用量から30%削減する	未達 85%	×

パフォーマンス報告

事業活動における資源投入量と排出量

ジャパンビバレッジグループ

